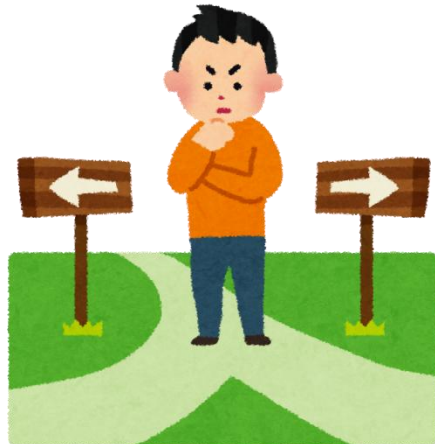


# 心の輪 12R

自分の生き方をより深く考えるための材料とするために道徳通信を出していると思います。通信の名前は「心の輪」。道徳の授業で友達が、どんなことを感じ、考えていたのかを振り返りながら、お互いの「心」をつなぎ、「輪」を広げて欲しいという思いでこのタイトルにしました。自分や友達について、新たな発見が生まれたいと思います。



## 道徳の授業は何を考えるの？



道徳の授業を通して考えること。それはズバリ『**自分の生き方**』です。自分にとってよりよい生き方とは、どんな生き方なのか。その生き方をするために、自分が大切にしたい『**考え方**』、『**心の在り方**』とは何かを考え、自分自身を磨く時間が道徳の時間です。

**生き方に正解はありません。**人の数だけの生き方があります。たくさんの生き方がある中で、自分はどんな生き方を選びますか？選ぶためには、たくさんの価値観や考え方に触れることが必要です。今の自分にはない価値観や考え方に触れるために、授業の中では**たくさん考え、話し合ひ**ましょう。



**君たちはどう生きるか？**

『美しく自分を染めあげて下さい』という資料を通して、「**3年間の中学校生活でどんな自分になりたいか**」について考えました！

自分のためだけでなく、人のことも考えて行動すると、思いやりを持てるようになり、それによって白から輝きのある色になると思った。また、加藤君の黒も、黒光りして輝くという意見に「なるほど」と思った。

美しく自分を染めあげるために、自分よりも相手を一番に考え、自分に厳しく相手に優しくできるように、人の気持ちを自分に置き換えて、相手も自分も気持ち良く自分が後悔しないように行動していきたいです。

『美しく自分を染めあげて下さい』という詩を読んでみて、赤ちゃんのときみたいに真っ白な心に戻りたいと思ったけれど、今は今でいいものだなと思うことができた。

白という色は、磨けば輝きのある色になり、人には優しく、自分には厳しくすると、白は素晴らしい色になることが分かった。自分も今度からは、自分に正直になりたいと思った。

人間は善い行いをすると、良い方へ、悪い行いをすると悪い方へ行ってしまっているので、これから人のために尽くせるような人になって、自分を良い方に自分で導くことができるような人間になりたい。

人に信頼される人は、誰にでも優しくして、相手のことをいつでも一番に考えないとダメなんだなあと、改めて知りました。小さな優しさでも、少しずつ実行していったら山となることを知れて良かった。

悪いことはせず、他の人に誇れるような人生にしていきたい。そのために、互いのことを理解できるようになりたい。

相手と自分、その関係があって『仲間』と言えるから、その関係を壊さないように、自分を相手に置き換えてみたりして、自分を成長させるということをすれば、自分の心を輝き、煌めきのある色にして、自分一人一人だけでなくみんなが笑顔でいられるようにしたい。

美しく自分を染めあげるために、「地域のために自分にできることを自分からやる」という考えを、この道徳で持つことができた。